

## 9月・10月・11月の行事日程一覧

9月2日(土)【ぶら探訪51】(要申込)  
「福山城跡の破壊度を検証する」

9月16日(土)【特別歴史講演会】  
「備後の国人領主」

9月23日(土)【分布調査】(要申込)  
中世石造物調査「新市町」

9月24日(日)【徒歩例会】(要申込)  
「中世草戸の城館を歩く」

10月7日(土)【ぶら探訪52】(要申込)  
「中世芦田川・山陽道を探る」

10月1日(日)【測量調査】(要申込)  
山手銀山城測量調査

10月9日(月・祝)【特別企画】(要申込)  
「街道を歩き憩亭を訪ねる2一駅家方面」

10月15日(日)【徒歩例会】(要申込)  
「いざ三原へ!第2回~三原城下西部」

10月22日(日)【バス例会】(要申込)  
「備中南部最大の城郭、猿掛城と茶臼山城」

10月29日(日)【分布調査】(要申込)  
中世石造物調査「熊野町」

11月4日(土)【ぶら探訪53】(要申込)  
「向東をめぐる Part 2」

11月12日(日)【バス例会】(要申込)  
「炎の陽明学者、山田方谷を学ぶ」

11月18日(土)【特別企画】(要申込)  
「街道を歩き憩亭を訪ねる3一草戸方面」

9月3日(日)【古文書解読会】「河本家文書」  
9月9日(土)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」  
9月23日(土)【古代史部会】「古墳講座」  
10月14日(金)【近世・近代史部会】「近世福山を読む」  
10月21日(土)【中世史部会】「的場山城探訪」

- ◎9月の「中世を読む」はお休みです。
- ◎10月の「中世を読む」は現地探訪をします。

## 2017(平成29) 行事案内 9月号

備陽史探訪の会の目的  
備後を中心とした地域の歴史を研究し、愛郷の精神を涵養する。  
(会則第1章第2条より)



## 行事参加の お申込は

「要申込」のある各行事参加の申込は以下のいずれかよりお申込ください。

- ◎公式サイトへの参加申込フォーム  
「<http://bingo-history.net>」
- ◎事務局へメール  
「[info@bingo-history.net](mailto:info@bingo-history.net)」
- ◎田口会長宅へ電話  
「084-953-6157」

〔備陽史探訪の会事務局〕  
〒720-0824  
広島県福山市多治米町5-19-8  
TEL&FAX 084-953-6157  
E-mail [info@bingo-history.net](mailto:info@bingo-history.net)

公式サイト  
<http://bingo-history.net>

9月16日(土) 特別歴史講演会

県立歴史博物館共催

## 「備後の国人領主」

田口 義之

(備陽史探訪の会 会長)

南北朝時代に国人領主として登場した備後の在地領主の出自や特徴を田口会長にやさしく紹介してもらいます。これから備後の中世史や地域史を研究しようとする方、必見の講演です。奮ってご参加下さい。

【時間】 午後2時～3時半

【場所】 ふくやま草戸千軒ミュージアム  
地下講堂

(広島県立歴史博物館・福山市西町)

【参加費】 無料

※申込不要。直接会場で受付します。  
先着 240 名

9月2日(土)

ぶら探訪 51

## 福山城跡の破壊度を検証する

要  
申込

福山築城400年まであと5年と、福山城に対する関心が高まりつつありますが、廃城以後150年間の変遷については余り知られていません。今回はこの福山城が現在まで如何に「破壊」されてきたかを、会長と一緒に検証してみたいと思います。

【集合】 午前9時30分 ※雨天決行  
福山駅北口噴水広場

【参加費】 100円(会員) 300円(一般)

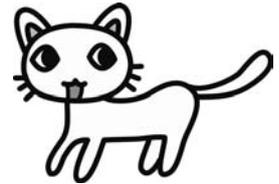
【募集数】 50名

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

※11時30分、現地解散の予定

今まで  
ながった  
城歩きにゃ



事務局便り

## 原稿を募集！ 備陽史研究第26集

「備陽史研究」は、会報「備陽史探訪」と並ぶ会の「顔」です。「備陽史探訪」にも郷土史に関する論考を掲載しておりますが、ページ数に限りがあるため、本格的な論考は掲載することが出来ません。こうした郷土史の研究発表の場として設けられたのが「備陽史研究」です。

内容は、備後郷土史に関する論考で、新発表のものに限ります。また、学術誌としての性格も持っておりますので、投稿された原稿は掲載するに妥当かどうか審査させていただきますので、ご了解下さい。

### 締め切り 10月末

ワード原稿の場合、1行40文字、1ページ40行で、原則20枚以内とさせていただきます。

9月23日(土)

分布調査

## 中世石造物調査

九月は、新市町を調査します。  
事前の所在確認や調査カード作成をお願いします。

要  
申込

【集合】 午後1時30分

新市支所 駐車場

(新市町大字新市 1061 番地 1)

【その他】

※雨天の場合は中止し、後日実施。実施可能かどうか、微妙な天気の際は、田口会長宅へ電話での確認をお願いします。

※なお、10月は、29日(日)に熊野町で実施する予定です。

中世の石造物の分布調査です。調査内容は本紙の調査報告の頁をご参照ください。中世の石造物に興味のある方、あるいは地元の方、ぜひ参加してみてください。参加資格はありませんので、石造物について知識のない方でも興味があれば大丈夫です。地元こんな中世の石造物があったんだ!?!の発見もありますヨ。もちろん、本格的に調査研究に取り組みたい方も大歓迎です!

9 月 24 日(日) 徒歩例会

# 中世草戸の城館を歩く

要  
申  
込

中世、その重要性ゆえに戦乱に幾度となく巻き込まれた草戸。守りにくく攻められやすいといわれたこの地にあった防御施設とは？  
ここ数年の研究で見えてきたその全容の一端を見る！



**【集 合】** 午前 9 時  
草戸大橋東詰河川敷  
(河川敷駐車場利用可)  
(福山駅 8:40 発 徒歩 草戸バス停 8:46 着、草戸大橋バス停は草戸大橋西詰めになりますのでご注意ください。)

**【参加費】** 300 円 (会員) 500 円 (一般)

**【講 師】** 杉本 憲宏 (中世史部会長)

**【その他】**

※山道を歩きます。必ず長袖・長ズボン・軍手  
でご参加ください。

※解散予定は午後 3 時以降

※弁当・飲み物持参

**【主な見学地】**

鷹取城

草戸の水運の要地に築かれていたと思われ、その場所の候補地は複数あるが、新たな候補地が発見された。

半坂山城

山田からからの街道と長和からの街道の合流地点をおさえる要地。戦乱の時代、この地で興亡を繰り返した在地武士の墓が残る。

草戸山城

近年発見された遺構で曲輪、井戸、土橋などが残り、立地から草戸の防御の司令塔であった可能性がある。

## びんご歴史クイズ 24

↓点線で切り取ってハガキに貼って応募してください。

- ① 大田貝塚を発掘し、出土した人骨を研究し、「日本原人論」を発表したのは次の内誰ですか？  
イ) 村上正名 □) 浜本鶴賓 ハ) 清野謙次 ニ) 坪井正五郎
- ② 戦国時代末期、鞆大可島城に居城し、「鞆殿」と呼ばれた村上亮康は、どの村上氏の出身ですか？  
イ) 能島村上氏 □) 来島村上氏  
ハ) 田島村上氏 ニ) 因島村上氏
- ③ 福山藩主 2 代目水野勝俊の母香源院の生まれは、次の内どの家であると伝えられていますか？  
イ) 藤井氏 □) 三村氏 ハ) 都築氏 ニ) 吉岡氏
- ④ 明治の啓蒙思想家、窪田次郎が結成した学習結社は次の内どれですか？  
イ) 立志社 □) 櫻鳴社 ハ) 蛙鳴群 ニ) 明六社
- ⑤ 草戸を本拠に、後には熊野町の一乗山城を築いて備後有数の豪族となった渡辺氏はどこの国の出身と伝わっていますか？  
イ) 安芸国 □) 山城国 ハ) 若狭国 ニ) 越前国

びんご歴史クイズ全問正解者に「ぶら探訪参加券」をプレゼント！6枚綴りになっており、しかも、会員・一般共通という太っ腹企画！（但し、換金、転売はご容赦を！）

全問正解者が多い場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

○応募申込は

事務局宛てにハガキで応募、  
(左の点線で切り取って答えに○してハガキに貼ってください。)

もしくはインターネットの公式サイト  
の応募フォームから

※電話での受付はありません。

○応募締め切りは

9 月 20 日 (水) まで

※正解と当選者の発表は会報 198 号  
で。

10月1日(日)

測量調査

## 山手銀山城測量調査

山手銀山城の測量調査が始まります。測量してみたい方、見学だけの方、初めての方の参加も歓迎です！

【集合】 午前9時  
里山広場（弘法の水の南側）

**要  
申込**

【その他】

※午後4時頃解散予定。

※お弁当・飲み物・筆記用具を持参してください。

※雨天の場合は中止します。



いよいよ  
測量調査  
再開するよ！



平板測量を用いた  
縄張図の作成を行います。  
経験のない方、見学だけの  
方もOK！山城に興味のある  
方ならどなたでも  
参加できます。

10月9日(月・祝)

特別企画

主催：備陽史探訪の会  
共催：福山の日本遺産認定を目指す会  
福山市・福山市教育委員会（予定）

街道を歩き

## 憩亭を訪ねる 第2弾！

6月11日に開催された第1弾に続き、第2弾を開催！  
JR 福塩線駅家駅前から「憩亭」や国史跡二子塚古墳を含む  
遺跡を訪ねながら近田駅まで歩き、参加者に福山地方特有  
の文化遺産である「憩亭」に対する理解を深めてもらいます。

【集合】 午前9時10分※雨天決行  
JR 福塩線駅家駅前  
(福山駅 8:44 発 駅家駅 9:08 着)

【参加費】 200円 (※高校生以下無料)

【募集数】 50名

【その他】

※弁当・飲み物持参、歩きやすい服装で。  
(昼食は最明寺境内)

※解散は午後3時頃、JR 福塩線近田駅前

【主な見学地】

憩亭（6か所）、二子塚古墳など

10月7日(土)

ぶら探訪 52

あなたわり

## 穴の海の故地穴濟、 中世芦田川・山陽道を探る

**要  
申込**

【集合】 午前9時10分 ※雨天決行  
福塩線 横尾駅前

(福塩線 福山駅 8:44 発府中行き 横尾駅 8:53 分着)

【参加費】 100円 (会員) 300円 (一般)

【講師】 瀬良泰三 (近世史部会幹事)

【見学地】

- 穴濟跡 (旧鶴の渡し跡) 旧鶴ヶ橋跡
- 穴の海故地
- 江渡橋跡
- 中世芦田川とその土手跡
- 中世山陽道、近世山陽道

【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加

※解散は11時30分ごろ 横尾駅前で。

全行程 4.2km

※11時30分、現地解散の予定

神辺平野にあったと言われ、日本武尊の伝説の残る穴の海。そしてそこから水が流れ出ていた「穴わたり」のあった中津原周辺を歩きます。当時の地形に興味のある方、高低差、段差に興味のある方は是非ご参加ください。

10 月 15 日(日) 徒歩例会

## いざ三原へ!! 第2回 ~三原城下西部(川東地区)を探訪する~

要  
申込

今月2月の「三原城跡探訪」に続く第2回目として、三原城下西部地区を探訪します。

今回は、宝永6年に描かれたとされる「三原西町絵図」をもとに、寺社所蔵の貴重な文化財や西国街道、小路、城門跡など、往時の遺構を見て回ります。

小早川、福島、浅野と続く、時代の変遷の中で、三原城下の町割りや寺社配置がどのように行われてきたのか、現地を歩きながら、その一端を感じ取っていただければと思います。ご期待ください。

【集 合】 午前 9 時 30 分

JR 三原駅北口(少雨決行)

※福山駅からは 08:32 糸崎行に乗車。

糸崎にて広島行に乗換え、09:16 三原着(大人片道 580 円)

【参加費】 400 円(会員) 600 円(一般)

【募集数】 50 名

【講 師】 吾郷 誠二

【その他】

※全行程は約 3km。坂道や狭い道を歩きます。歩きやすい服装・靴で参加下さい。

※弁当飲物持参。宗光寺本堂で昼食をとる予定です。

※午後 3 時 30 分頃「JR 三原駅」前解散予定。(15:42 三原発~ 16:15 福山着)

【主な見学地】

妙正寺

三原浅野家菩提所。延宝 2 年(1674)、浅野忠真、東町の米田山麓に建立。享保年間、現在地に移転。(三原浅野家歴代墓所、本堂、庫裡、鐘楼堂、墓所門等)

宗光寺

小早川隆景が父毛利元就と母妙玖の菩提を弔うため新高山城内に建てた巨真寺を三原移城の際、現在地に移転。(山門(国重文)、福島正之・浅野忠長墓、七重塔等)

正法寺

天正年間、長谷町から三原城山之手の北側へ移転。明治 23 年(1890)、現在地に移転。(大般若経(国重文)、本堂、庫裡、木造延命地藏菩薩立像等)

成就寺

小早川貞平・正平菩提所。天正年間、高山城下から現在地に移転。仮名手本忠臣蔵の浄瑠璃作家 並木宗輔修業の地。(小早川正平像、琴江令薫像、淡島神社等)

※その他、西大手門跡、西国街道、阿房坂、一抹院、松林小路、河原谷川の遺構などを探訪します。

10 月 22 日(日) バス例会

## 備中南部最大の城郭、猿掛城と茶臼山城

要  
申込

【集 合】 午前 7 時 50 分

JR 福山駅北口観光バス乗り場

【参加費】 2,500 円(会員) 2,800 円(一般)

【募集数】 48 名

【講 師】 佐藤 貴洋

【その他】

※歩きやすい服装・靴で。

※弁当・飲み物持参

※午後 5 時半頃、北口帰着解散予定

【主な見学地】

猿掛城跡(小田郡矢掛町・倉敷市真備町)

備中守護代庄氏の本拠、後毛利元清の居城となった。曲輪・塹堀・石垣などが現存。

洞松寺(矢掛町横谷)

創建は古代にさかのぼるといわれるが、室町初期、猿掛城主庄氏が菩提寺として再興した曹洞宗の寺院。

伝庄氏館跡(同)

猿掛城主庄氏の館跡と言われるが、現在石碑が建つのみである。

茶臼山城跡(矢掛町東三成)

猿掛城主毛利元清が天正 11 年頃から築城をはじめたという。近世的な城である。

この山城の義口田  
備後山城  
50選18

福山市内屈指の山城遺跡  
**利鎌山城跡**

- ◎山城としての評価B
- ◎登り易さB
- ◎分り易さB

**所在地** 福山市芦田町福田  
**比高** 約一五〇メートル  
**築城者** 福田氏

**城の歴史** 『西備名区』によると、遠江の在地武士であった岡田氏が、足利尊氏に従って戦功を挙げ、恩賞として福田の地頭職を賜り、築城したのが利鎌山城だという。以後、岡田氏は在名をとって福田氏を名乗り、戦国時代に及んだという。一方、

時代中期、福田氏は隣接する有地氏と戦って敗北、滅亡したことになるが、史料の上では、天正年間（十六世紀後半）になっても福田氏の存在を確認でき、福田氏が当地を退去したのは別の理由があったと判断される。すなわち、天正7年から9年にかけて、利鎌山城主と伝わる福田盛雅は、毛利氏の部将として美作枅形城を守っており、福田氏は有地氏に滅ぼされたのではなく、毛利氏の尖兵として美作に本拠を移したと考えられる。天正12年の「国割り」で、美作は宇喜多氏の所領となり、福田氏も宇喜多氏に臣従した（浮田家分限帳）

北に突出した尾根を3重の堀切で独立させ、先端部を幾重にも削平して曲輪としたもので、2段目の曲輪は70段に達する長大なもので、わずかの段差で数区画に区分され、住居スペースとしては十分な広さを持っている。その先端は4重の空堀で防備され、主要な曲輪の周囲は堅堀群が配置され、土作りの山城としては最高レベルの防備が施されている。現在、地元住民グループの皆さんで、遊歩道の整備や、定期的な草刈が実施されており、戦国時代の土作りの城を体験できる場所として、是非、登ってみたい山城の一つである。

史実の上では、尊氏から福田庄の地頭職を拝領したのは、木梨氏の祖となった杉原信平で、当城を本拠に備後国衆として発展して行った福田氏は、この信平の子孫である可能性も捨てきれない。

伝承では、戦国



北から見た利鎌山

見所 芦田町の東南部に聳える大旗山（308m）から



利鎌山城の空堀

**特別展「広島県重要文化財 浄土寺文書の世界」**

平成29年9月16日（土）～10月29日（日）

ふくやま書道美術館  
（福山市西町一丁目1番1号 エフピコRiM 8階  
Tel 084-925-922）

入館料 一般800円

浄土寺の国および広島県指定の重要文化財《浄土寺文書》は115通に上り、鎌倉時代末期から室町時代にかけての同寺の歴史を克明に伝える文書群として注目されます。本展覧会では県指定の文書を中心として、仏画や舍利容器なども交えた65点余りの寺宝を展観いたします。

記念講演会  
「仏教美術に見る尾道・浄土寺と西大寺流律宗」

日時：9月23日（土曜日・祝日）  
午後2時～午後3時30分（開場：午後1時）

講師：濱田宣（徳島文理大学文学部教授）

会場：福山市ものづくり交流館セミナールームA  
（エフピコRiM 7階）

定員：100名（当日先着順）※聴講無料

情報BOX

11 月 12 日(日)

バス例会

## 炎の陽明学者、 山田方谷を学ぶ

要  
申込

山田方谷は、備中松山藩（現在の高梁市）の藩政改革を断行、さらに、江戸時代最後の老中となった板倉勝静を支えた、幕末の政治家であり、陽明学者です。その手腕を近年評価され、NHK 大河ドラマの主人公に！との声も高まっています。

今年は、大政奉還から 150 年。改めて、激動の幕末を駆け抜けた偉人の生涯を、出身地の高梁市中井町を中心に探訪します。

地元のご協力もいただき、普段は訪れることのない見どころいっぱいバス例会になること必定です。

- 【集 合】 午前 8 時 20 分  
JR 福山駅北口観光バス乗り場
- 【参加費】 4,000 円 (会員)  
4,500 円 (一般)  
(昼食のお弁当代込みの料金です)
- 【講 師】 網本 善光 (山田方谷に学ぶ会)
- 【募集数】 48 名

### 【主な見学地】 山田方谷ゆかりの地

- ①方谷の里ふれあいセンター (資料館)  
山田方谷の事績を学習します。
- ②生家跡
- ③方谷園 (墓参)
- ④方谷駅 (JR 伯備線)
- ⑤長瀬塾跡 ほか

### 【その他】

- ※昼食付きです。飲み物は持参ください。
- ※福山帰着は午後 6 時予定。

11 月 4 日(土)

ぶら探訪 53

## 向東をめぐる Part2

要  
申込

向東シリーズ 2 回目です。今回は東海岸を周り、干拓地と塩田の跡をたどったり、中世の復古裏経紙背文書について、また、和泉式部伝説など、面白い話のある地域をぶらり見て回りましょう。

【集 合】 午前 9 時 ※雨天決行  
尾道市向東農協駐車場  
(広島県尾道市向東町 8922-2)

【参加費】 100 円 (会員) 300 円 (一般)  
【講 師】 峯松 俊彦

### 【主な見学地】

干浜塩田跡、天女浜塩田跡、犬神社、山波の州歌の漁港、西金寺、へるお谷、天満宮、道満

### 【その他】

※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。

### 車の場合

尾道大橋 (県道 317 号線) を渡り、突き当たりを左折。道なりに約 1.6km。右手に尾道市向東農協あり。

### 徒歩の場合

尾道駅前渡船乗船→向島で下船→「駅前渡船」バス停で「潮見が浜行き」乗車 (8:28) →「向東農協前」で下車。

11 月 18 日(土)

特別企画

「福山の日本遺産認定を目指す会」提唱・共催

### 街道を歩き

## 憩亭を訪ねる 第3弾!

10 月 9 日開催の第 2 弾に続き、第 3 弾を開催!

【集 合】 午前 9 時 ※雨天決行  
明王院駐車場  
(広島県尾道市向東町 8922-2)

【参加費】 800 円 (明王院五重塔拝観料を含む)  
【募集数】 50 名

### 【主な見学地】

国宝明王院本堂、五重塔、草戸川西街道、憩亭など

### 【その他】

- ※飲み物持参、歩きやすい服装・靴で参加。
- ※午前 11 時半現地解散予定

## 古代史部会

「古墳講座」(第380回)

- ◆9月23日(第4土) 午後7時～
- ◆福山市民参画センター

## 中世史部会

「中世を読む」

※9月はお休みします。

「中世を読む」(第351回)

**要  
申込**

- ◆10月21日(第3土)
- ◆午前9時、明王院前駐車場(草戸町)
- ◆講師 杉本憲宏(中世史部会長)
- ◆参加費 100円
- ◆募集人員 20名
- ◆主な探訪地  
的場山城跡(瀬戸町長和)

※山歩きできる服装で参加。  
※午前11時半解散予定。

※10月は現地探訪します。  
集合時間、場所など  
お間違えなきよう。  
※定員がありますので、事前に  
参加申込をお願いします。

## 近世・近代史部会

「近世福山を読む」(第55回)

- ◆9月9日(第2土) 午前9時45分
- ◆福山市民参画センター
- ◆講師 高木康彦(近世近代史部会長)
- ◆内容「水野時代の寺社 第二部 城北の寺院」  
胎蔵寺本尊胎内施入品と中世の大寺院常興寺の関わり、そして水野家城代家老上田玄蕃との関わり深い妙政寺・弘宗寺・実相寺の相互の関係について取上げます。

「近世福山を読む」(第56回)

- ◆10月14日(第2土) 午前9時45分
- ◆福山市民参画センター
- ◆講師 高木康彦(近世近代史部会長)
- ◆内容「水野時代の寺社 第三部 城東の寺院」  
水野家の菩提寺となった賢忠寺を始め城東の寺院を取上げます。

バス例会のキャンセルについて

3日前のキャンセルはキャンセル料は不要ですが、3日から2日前のキャンセルは参加費の半額、当日のキャンセルは参加費の全額を申し受けます。

行事に参加する時は、会員証を忘れずに

行事に参加する時は、会員証を携行してください。必要な時はご提示願います。よろしくご協力ください。(特にバス例会などは名札として代用しますので、忘れないようにしてください。団体行動する会員の身分証明でもあります。)

## 古文書 解説会

- ◆9月3日(日) 午後2時
- ◆福山市民参画センター
- ◆講師 いません。  
みなで読み合わせていきます。講座ではありませんのでご了承ください。
- ◆内容「河本家文書」

# 備陽史探訪の会

【事務局】

〒720-0824 広島県福山市多治米町5-19-8

TEL&FAX 084-953-6157

E-mail info@bingo-history.net

公式サイト

<http://bingo-history.net>

## 会報 198 号原稿募集!

10月発行の会報198号の原稿を募集しています。備後郷土史に関するものは何でも差支えなし。論文・論考・資料提供・絵・写真・俳句・随筆・昔語り・質問、他、例会報告など会員の皆様の投稿をお待ちしております。9月16日(土)までに事務局編集部まで。規定は16文字×120行。(論文・論考は16文字×244行程度)